

第158回化学コロキウムのお知らせ

日時：平成 22 年 9 月 27 日 (月) 16:00~18:00
場所：首都大学東京 8号館301室
演者：長尾道弘 氏 (アメリカ標準技術研究所(NIST)客員研究員,
インディアナ大学准研究員)
演題：中性子散乱によるソフトマターダイナミクスの観測

要旨：ソフトマターは広い時空スケールにおける階層構造が特徴である。中性子散乱法は、sub nm から sub μ m の構造の sub ps から sub μ s の運動を捉えるプローブとして利用されている。中性子スピンエコー法は、中性子散乱法として最高のエネルギー分解能を持ち、ソフトマターのコヒーレントな運動の研究に適している。今回は、界面活性剤膜の厚み揺らぎと高分子ゲルのダイナミクス研究を例にとりながら、中性子散乱を使ったソフトマターの物性研究について説明する。

長尾道弘氏は 2006 年に東大物性研中性子科学研究施設助手の職を辞して渡米し、NIST の中性子研究センターで中性子スピンエコー装置の開発・維持管理に携わっています。同時に中性子散乱を用いたソフトマターの研究に邁進している新進気鋭の研究者でもあり、その研究成果により、2005年に日本中性子科学会第3回奨励賞を、昨年第3回日本物理学会若手奨励賞を受賞されています。なお本講演は英語で行なわれます。

連絡先：首都大学東京理工学研究科分子物質化学専攻 加藤 直 (内 3435) kato-tadashi@tmu.ac.jp
川端庸平(内 3454) youheik@tmu.ac.jp